

平成20年度(一般・特別)会計・当初予算

常任委員会審査報告

総務文教常任委員会委員長 杉本 和彰

厚生常任委員会委員長 坂本 政光

建設経済常任委員会委員長 北原 芳史

3月13日大会議室にて教育委員会、議会、総務課、会計室、翌14日に税務住民課を行いました。

教育委員会 学校の統廃合に向けて、学校用地等について町部局と協議しながら進めていく。複式学級の対応策としてスクールバス利用による合同学習が始まる。国の特別支援教育支援員制度の財政措置1校あたり120万円となります。

歳出 賃金として約2千260万円。(支援員8名、講師2名、給食5名、バス運転手) 備品購入620万円(スクールバス)、小学校費(7校事務用品分)約1千万円、工事請負費 神尾小プールサイド約200万円、春富小井戸ボーリング約230万円、中学校費(工事請負費) 菊水中エアコン整備約150万円、三加和中280万円(主に体育館床下換気)、社会教育費 青少年育成町民会議77万5千円(婦人会・子供会・町青年団 文化事業)、公民館費 工事請負費約853万円(中央公民館駐車場舗装工事)、文化財保護費、保健体育費 県体玉名大会実行委員会負担金約270万円、体育施設費 春富グラウンド駐車場整備170万円、学校給食センター費 修繕料96万円厨房床面塗り替え工事等。奨学金会計 奨学金588万円(大学生15名、高校生4名)

総務課 一般会計予算は、前年度と比較して1億4千654万6千円(対前年度比26%)増加して総額58億6千498万3千円、過疎対策事業債が6億2千200万円(内訳は町道改良舗装整備事業2億7千万円、防災無線施設整備事業3億3千400万円、防火水槽整備事業1千800万円)、合併特例債は、県道改

厚生常任委員の所管事務調査に係る、一般会計、特別事業会計予算審査を健康福祉課で7事業、特別養護老人ホーム、町立病院事業会計予算を、13日、14日両日に渡り説明を受け審査致しました。

13日、健康福祉課より、障害福祉、児童福祉、老人福祉、公立保育所、保健予防、介護保険特別会計、地域包括支援事業とそれぞれに審査を行いました。その中で主なものを報告致します。障害福祉事業においては、20年度新事業で、自立支援事業、聴覚障害事業に係る備品購入に100万円の予算、又、社会促進事業で免許取得、自動車改造費等20万円位であるが盛り込まれた予算であった。

児童福祉事業においては、私立保育園の現状、園児の減少傾向、一部保育所においては他町村からの入園の希望もあり、増加しているものの全体的に少子化の影響からくる現象が見られる。又、一方において未満児の園児が多くなっている。公立保育事業は、園児数はほぼ横ばいの状況であるが、少子化の影響が見え始めている。一時保育、子育て支援事業にも取り組まれ、運営総額5千600万円となっている。

次に、保健予防総務事業について、医療制度改革により基本検診等々で、3千万円の減額となっている。又、妊産婦健診の強化にともなう予算で一人5回の検診を受ける制度を設けられ、総額320万円、一人当たり4万7千410円が計上されている。

次に、地域包括支援事業で前年度対比500万円減の予算で介護保険事業に一部移行された予算がある。高齢化時代に健康推進に主体性を持った事業がなされており、さらなる健康アップに勤めていただくよう進言致したところである。

農業総務振興費関係予算については、山太郎祭負担金200万円新規就農者は、本年度2名(旧菊水1名、旧三加和1名)を予定し、一人20万円で40万円の計上です。中山間地域等直接支払交付金の事業費4千862万3千円となっており、一般財源から1千215万6千円、53地区652ha。県営圃場整備事業が447万3千円計上しており、主なものに実施計画策定負担金275万円、推進協議会負担金25万円。

○土地改良区補助金80万円(菊水・三加和土地改良区に40万円)

○農地流動化地域推進事業 705万円 貸付人340ha、借受人(一般)188ha(認定)153ha

○農地・水・農村環境保全向上活動支援事業286万円

○林業振興費514万5千円、間伐促進事業200万円

○商工総務費 和水町商工会補助金950万円

○観光費5千272万7千円、温泉施設修繕費626万円

○工事請負費ふるさと交流センター駐車場工事800万円

○和水町古墳祭補助金1千万円

経済関係予算については以上であります。次に、建設関係予算について報告します。

建設課の20年度予算については、午後1時より行い、中山建設課長の説明資料に基づき、各項目別に説明を受けました。

○環境衛生費 8千571万円合併浄化槽設置整備事業(補助)

内訳 5人槽50万円×20基

7人槽50万円×79基

10人槽50万円×1基 6千621万円

合併処理浄化槽設置整備事業(単独)

20万円×95(汲み取り)

10万円×5(新築・水洗)1千950万円

○土木費 補助金4千200万円

本庁 行政区37集落 支所 行政区25集落 団体等 21+14=35

良負担金2千250万円、臨時財政対策費が2億5千万円。

歳出 一般管理費 顧問弁護士25万円、懸垂幕移設工事約2千万円、総合支所費 駐車場整備費約400万円、総合行政システム変更委託約600万円（ペーパーレス化を図り、決済の迅速化、諸経費の削減を図る為）。和watネットワーク整備コンサルティング委託

行政機関及び学校を自設の光ケーブルで結び高速通信環境の構築及び経費の削減を図る為の事前準備として現在のネットワークの調査及び総務省への申請が必要となる為。約195万円、消防施設費 防火水槽整備新設工事費3千600万円（9機分）、防災行政無線施設整備工事費3億5千万円。企画費 コミュニティ助成事業1千80万円（夢ランド十町、竈門神楽、岩尻地区）。宅地造成事業会計 平野地区宅地造成事業 工事請負費5千万円。香富財産区特別会計 事務経費7万2千円の減額で総額29万円。

税務住民課 歳入 町税約8億8千万円（個人分約2億8千万円、法人分約6千万円）、固定資産税約4億6千万円。歳出 徴税費 町税還付金（税源移譲に伴い720万円）、後期高齢者医療費 負担金約1億4千万円、せきすい斎苑負担金約600万円、一部事務組合負担金約2億9千万円。

国民健康保険事業会計 前年度に比較して約6千800万円減少、総額約15億2千500万円。これは後期高齢者医療の開始に伴うものである。歳入 特定健康診査等負担金 国・県同額で個別検診約120万円、集団検診60万円、保健指導42万円。

歳出 出産育児一時金700万円、後期高齢者支援金等約1億6千万円、特定健康診査等事業費約3千300万円。

老人保健会計 前年度に比較して約16億5千400万円減少して総額約1億8千万円である。後期高齢者医療事業による減少である。給付費の2カ月遅れと医療支給費分である。後期高齢者医療事業会計 20年度からの制度であり約1億5千万円である。歳入 特別徴収保険料 約7千200万円（1千721名）、普通徴収保険料 約1千万円（812名）。歳出 後期高齢者医療広域連合納付金約1億3千600万円、健康診査費約350万円。以上簡単ですが報告いたします。

特別事業会計で介護保険は前年度対比、800万円の減で本年度13億8千400万円の予算歳入において、保険料（第一号被保険者）15.8%、国県補助金68.5%、その他15.6%となっており、ほぼ補助金等にたよった予算である。

又、歳出においては、93%が介護給付費となっている。他に、平成21年度第四期介護保険の見直しに、準備費用として、300万円が計上、介護予防事業に健康体操指導、認知症介護教室等々が行われており、さらなる予防健康推進に努められるよう進言したところである。

又、有明広域組合への認定審査共同金として625万円が負担金として出ています。

次に、特別養護老人ホーム事業会計は、平成20年度の歳入歳出予算の総額は、前年度と比較すると239万円、0.5%増の4億6千374万4千円と定めてあります。

歳入関係では、歳入の92.5%を占めるサービス収入は、長期入所者、短期入所者、通所利用者の介護給付費及び自己負担金の収入であり、20年度は長期入所者を年間4万人、短期入所者を1千500人、通所利用者を5千人と見込んで4億2千900万円としてあります。その他は利用者負担金を399万円、積立金及び建設基金の利子が213万6千円となっております。

歳出では、長期、短期入所者に対して職員46名、臨時職員23名の人員費610万円増の4億2千257万4千円となっております。

基金の積立金については、平成19年度は当初予算には計上してなかったが、20年度は基金等の利子213万6千円と1千万円を積み立てる予定で1千213万6千円を計上してあります。平成19年度末における基金等の積立金は5億5千373万3千54円となる予定であるとのことでした。

次に、和wat町立病院事業会計は、前年度対比0.6%増の予算で8億8千300万円の予算、主な収入は入院費、外来診察であり、病棟3階、4階での収益が62.5%、外来診察で17.8%、その他となっている。整形外科、小児科の廃止による減少である。

歳出については、人件費65.2%、材料費12%等々となっており、減価償却費も47%になっている。

今後、病院運営も厳しいものになると予想される。その為にも町民の方々のさらなる町立病院の利用が不可欠であると思われる。以上、厚生常任委員会の予算審査の報告と致します。

○簡易水道事業会計繰出金 2千167万円

○特定地域生活排水処理施設事業会計繰出金 1千262万円

○道路維持費

○工事請負費 4千万円（菊水11・三加和8路線）

道路維持補修・側溝整備・舗装補修等、昨年に比較して1千万円のUP

○道路新設改良費 測量設計委託料 3千600万円

本庁2路線 支所3路線

○工事請負費 2億4千500万円

本庁 8路線 支所4路線

○河川維持費 工事請負費 800万円（河川掘削費500万円、環境整備費に300万円）

○公共下水道費 下水道事業会計繰出金 5千320万5千円、昨年より1千900万円UP

○住宅管理費 工事請負費 115万2千円

火災報知器設置

次に、議案第30号 平成20年度「和wat町簡易水道事業会計書」について報告いたします。

歳出

○一般管理費 委託料 施設管理委託料 42万1千円、その他の委託料 75万8千円（馬場地区・大藤地区・東郷地区）

○工事請負費 50万円（配水管付設工事・配水管漏水工事）

○公債費 元金償還金1千449万円、利子償還金1千28万円

次に、議案第31号 平成20年度「和wat町下水道事業会計予算書」について報告いたします。

○一般管理費 工事請負費200万円（10箇所×20万円）

○下水道施設運営費 施設管理委託料1千7万2千円 浄化センター1及び管渠管理委託料800万円

○公債費 元金償還金3千650万円 利子償還金1千264万7千円となっており。

次に、議案第32号 平成20年度「和wat町特定地域生活排水事業会計予算書」について報告いたします。

○一般管理費 委託料1千981万4千円（保守点検委託料、336基分（定期点検料））

○工事請負費 2千599万4千円（24基分 5人槽5基・7人槽15基・10人槽3基・15人槽3基、19年度実績は19基です。）

○公債費 元金償還金652万7千円、利子償還金310万6千円となっており。

次に、議案第35号 平成20年度「和wat町工業団地造成事業会計予算書」について報告いたします。

○一般管理費 公有財産購入費223万8千円（土地購入費）となっており。

地方交付税の抑制や税源移譲などにより、大変厳しい中にも、予算のスリム化や効率化を図った予算となっております。

以上で建設経済関係20年度予算審査報告を終わります。